

## 第8期第6回武蔵野市情報公開委員会 会議要録

- 日 時 平成25年9月10日（火）午後6時～8時
- 場 所 かたらいの道市民スペース
- 出席者 委 員 6名  
事務局 2名、広報担当課長

### 1 会議内容

#### (1) 報告事項

- ①平成24年度の開示等状況について

#### (2) 議 題

- ①ホームページのアクセシビリティへの対応及び障害者、外国人等への市政情報支援について
- ②平成25年12月15日号～平成26年2月15日号のCIMコラムのテーマについて
- ③第5回委員会会議要録案の確認

#### (3) その他

### 2 討議内容の要点（要点筆記とします。）

#### (1) 報告事項

- ①平成25年度の開示等状況について

(委員長) 最初に報告事項、平成25年度の開示等状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) [行政文書の開示請求については、4月～8月間は23件で、主だったものとしては、開発指導要綱に係る事業計画承認願の開示請求、保険証書の開示請求などであった。自己情報の開示請求については、4月～8月間は19件で、主だったものとしては、住民票の写し、戸籍の証明書、印鑑証明の交付などで、特徴的なものとしては、指導要録の開示請求があった。以上について、事務局から報告を行った。]

(委員長) 皆様から質問がありましたら。

(委員) 指導要録は、以前は非開示だったのですか。

(事務局) 本市では指導要録の開示請求は初めてで、決定するのにあたり、15年の最高裁の判例を参考にしまして、そこでは主観的要素の部分については非開示が認められるとあったのですが、最終的に全部開示で決定しました。

(委員長) ほかにお気づきの点はありますか。よろしいですか。

#### (2) 議 題

- ①ホームページのアクセシビリティへの対応及び障害者、外国人等への市政情報支援について

(委員長) 議題のほうに移りまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局) [ホームページのアクセシビリティへの対応及び障害者、外国人等への市政情

報支援について、資料6「市公式ホームページウェブアクセシビリティ方針」、資料7「総務省「みんなの公式サイト運用モデル」～概要版～」、資料8「障害者、外国人等への市政情報支援について」により、広報担当課長及び事務局から説明を行った。]

(委員長) どうぞ、皆様から質問、意見をお願いします。

(委員) ホームページの色は変更できますが、障害者対応ではないのでしょうか。

(広報担当) 資料の中には記述されていませんが、基本的には障害者対応とご理解ください。

(委員) 該当者の意見を聞く機会は設けていますか。

(広報担当) アクセシビリティに関しては、J I S規格に準拠していくことが必要です。また、市内の視覚障害の会合などに参加して、必要に応じて意見をいただいています。

(委員) ホームページにアクセスした場合には、アクセス件数はわかるのですか。

(広報担当) ホームページに関しては、全体のアクセス件数を把握しています。

(委員) 英語版を見たというアクセス数は。

(広報担当) 出ています。ただ、対象者が少ないので、ほかのページと比べますと若干少なくなっています。

(委員) 市の公式ホームページのウェブアクセシビリティ方針で、武蔵野市のインターネット利用の習熟度、障害の有無、年齢などにかかわらず、誰でもアクセスしやすいと記述されているのですが、習熟度と誰もがアクセスしやすくというのは、習得度に合わせてアクセスをしやすくするということだと思のですが、どのようなイメージなのですか。

(広報担当) あまり使われないような方でも使いやすくというイメージで、習熟度という表現にしています。アクセシビリティ方針に関しては、PDCAサイクルで実施していく中で、いかにJ I S規格に準拠してくるかと考えています。

(委員) 高齢者で、インターネットをやったことがない人を対象として見ているのでしょうか。

(広報担当) 当然対象としています。アクセシビリティ方針については、まず、障害を持っている方を機軸に考えています。J I S規格の中ではその部分が最もベースとなっているので、そこが中心になっていくと考えています。習熟度にどう対応するかは、次の改定の際の課題かと考えます。

(委員) 障害を持っている方や外国人への対応というのも理解できるのですが、需要といますか、色々な外国人がおり、日本語を習熟している方もいて、国籍だけではわからないわけです。他方で世界の方に読んでもらうということであれば、日本語版と英語版は必要でしょうし、マーケティングといたしましうか、需要を調べているのでしょうか。

(広報担当) 市内在住者については、国籍よりもどういった言語を使用しているかで需要の違いが出てくると思います。海外からに対しては、武蔵野のPRポイントといたしましうか、例えば市勢要覧のようなものを出していきたくと考えています。生活情報に関しては、どこまで対応するかが課題と考えています。

- (委員) 障害を持っている方に対してと同様に、お住まいの方に意見を伺ってもいいかなと思います。
- (広報担当) 交流事業担当と相談してみたいと思います。
- (委員) 外国語については、武蔵野市を国際的にアピールするという考えもあるのですか。
- (広報担当) ホームページは海外からでも見ることができるものなので、そのような側面は考えなければならないと思っています。
- (委員) 翻訳ソフトを使っての言語対応ですが、武蔵野市に関係のあるルーマニアやロシアはいかがでしょう。
- (広報担当) 翻訳ソフトに関しては、システム的には多国化はできると思うのですが、現状では翻訳のレベルが高くないので、どこまで提供が可能なかと思われます。
- (委員) ある人がつくった英文を見て、ある事情通の人に聞いたら、翻訳ソフトで翻訳したものとのことでした。精度の悪い翻訳ソフトだと、むしろ恥ずかしい話になってしまいます。
- (広報担当) そういった精度の低いところもありますので、「むさしのダイジェスト」といったような情報提供を、厚くした方がわかりやすいのかなと思っています。
- (委員) 翻訳ソフトで翻訳したものを、職員か誰かが確認するのですか。
- (広報担当) 毎日何十ページとありますので、確認するのは難しいです。
- (委員) サンプル調査はやったらという気がしますが。
- (広報担当) 交流事業課に多言語対応を担当している嘱託職員が2人おりますが、それだけが仕事ではありませんし、先ほどのダイジェストの編集などしていますので、マンパワー的に難しいと思います。
- (委員) 「むさしのダイジェスト」は、英語がわかればこんなにいいものがあると、もっとPRしてもいいですね。
- (委員) あと、日程的なもので、平成27年の3月にAAということですが。
- (広報担当) 現時点では、方針を定めたので、その方針に沿った形で対応ができるように運用して、一定の検査をしていきたいと考えています。
- (委員長) ほかにお気づきの点はありますか。よろしいでしょうか。基本的にはこうした方針で進めるということでしょうか。

②平成25年12月15日号～平成26年2月15日号のC I Mコラムのテーマについて

- (委員長) 続きまして、C I Mコラムのテーマについてです。事務局から説明をお願いします。
- (事務局) [事務局から、12月15日号～2月15日号のC I Mコラムテーマ案として、①すくすくプロジェクト、②がん検診、③認知症高齢者支援事業、④境認定こども園、⑤観光推進事業、⑥放置自転車6項目を挙げた。併せて、前回会議等で「今後に繰り越して検討する」テーマとして、男女共同参画施策の推進、地域防災計画の推進、がん検診、歴史資料館の整備、武蔵境駅周辺の再開発を挙げた。]
- (委員長) 選ぶべきテーマの数は4つです。前回の会議に出て繰り越しになっており、か

つ事務局で候補に挙がっているものは当選確実と考えてよろしいでしょうか。そうしますと、すくすくプロジェクトとがん検診は丸でいかがでしょう。

前回までの会議に出たテーマで、事務局側で計画策定中や時期尚早としたものを考慮するとして、また、都市基盤整備の分野が最近で出ていないので、入れてはどうかと。テーマとしては、武蔵境駅周辺再開発その他はまだ少し早いので、放置自転車が挙がっています。

- (事務局) はい。放置自転車は資料に入っていないのですが、候補としてお願いします。
- (委員長) 残り2つに関して、意見ををお願いします。
- (委員) 自転車については、放置自転車が少なくなったというPRはいいと思います。駐輪場は場所によってシステムが違うので、その違いを紹介して欲しい。
- (委員) 確かに駐輪場によってシステムが違うかもしれません。
- (委員) それと、吉祥寺駅についてもいいと思います。今は駅が工事中なので、どうなっているかわからないと感じている人もいないのでしょうか。
- (委員) 吉祥寺駅を取り上げるならば、工事が完了してからの方がいいのでは。
- (委員) 今、載せるとしたら、工事の予定や完成後のイメージとなるでしょう。
- (委員) 南北通路は市の事業ですね。
- (委員) でも、市民が知りたいのは、南北通路よりも駅の中ではないか。
- (委員) 外環道路の情報がないので、外環を出すといいと思うのですが。
- (委員) 今、3つのコミセンで勉強会が行われています。
- (委員) 地上部の外環ノ2がそのまま、地下もやるけれども、上もやるみたいな感じですか。
- (委員) 国の地下案と東京都の地上案とが生きているのです。
- (事務局) 外環ノ2について東京都からの情報が少ないので、説明会は行っているようですが、その情報が十分ではないと地元の方々が言っています。
- (事務局) 先日、外環の説明会があり、地下化の方の説明はあったのですが、国の主催なので外環ノ2の説明はなかったようです。
- (委員) 市として外環の事業に関して、市の権限で行うところは何かありますか。
- (事務局) 市は事業主体にはならないので、意見を述べるという立場かと思います。
- (委員) 希望は出せるでしょうけど、計画そのものはそのままですね。
- (事務局) 外環道路を知ってもらうということは大事だと思うのですが、間接的に得た情報となるので、CIMコラムとしては取り扱いづらいテーマかなと思います。
- (委員長) 日程的に都市基盤で扱い得るものというのは、放置自転車以外になさそうなのですか。
- (事務局) 来年度は、都市基盤系の話題が多くなると思います。
- (委員) 自転車の事故が多いので、放置自転車につけ加えてもらえるといいです。
- (事務局) 力を入れてほしい施策という問いに、過去、自転車対策は1番、2番できているのですが、最近は内容が変わってきていて、以前は放置自転車対策が多かったのですが、今はマナーの問題や自転車専用道路と、内容が変わってきていると感じます。
- (委員) 過去のCIMコラムとの重複は大丈夫ですか。

- (事務局) 過去も重複があったと思いますので、時期をあければいいと考えています。
- (事務局) 21年に、「自転車安全利用講習会に参加しましたか」があります。
- (委員長) 自転車を選ぶとするとあと1つです。仮にそう決めて進めますが、地域防災計画は繰り返し出ている、男女共同参画は現在計画を策定中、歴史資料館は来年に整備されるという理由があるようなので、③認知症高齢者支援事業、④境認定こども園、⑤観光推進事業でしょうか。頻度でいうと健康福祉は低いので、その点では③認知症高齢者支援事業か、④境認定こども園かなということですが、これは是非というのがありましたら。
- (委員) ④の境認定こども園は、保育園の待機との関係はないのですか。
- (広報担当) 保育園に関しましては、新たに認証保育所を誘致する形の提案事業なども進めていますし、こども園に関しましては、1月からのスタートで、新たに募集する約35名により、待機児童を解消していく予定です。
- (委員) ナーシングホームで認知症の養成講座がありまして、それを受けてきたのがいい講座だったと思いました。こういうのもあるということを書くといいと思います。
- (委員) 認定こども園は、1月のオープンですか。
- (広報担当) 今年の12月です。認定こども園事業自体は、桜堤児童館と市民会館の中に分園を設置し、その中で既に進行しています。今の予定では10月しゅん工、11月に引っ越し、12月から新園舎で認定こども園がスタートします。新規で募集する園児の入園が1月というスケジュールと聞いています。
- (委員) 認知症高齢者支援事業というのは、具体的にどういうものですか。
- (事務局) 予防の講座、認知症のサポーター養成、認知症の相談事業など、市の独自事業として展開しているものを紹介していく予定です。
- (委員) 今年の5月15日のCIMコラムの文章に、「代替施設で開園した境こども園も新園舎の完成とともに待機児童解消の一助になることでしょうか」と書いてありますが。
- (事務局) 代替施設で開園した境こども園というのは、市民会館、桜堤児童館の中にある分園のことです。
- (委員) 子どもを持っている親からすると、早く知りたいですね。
- (委員) オープンのときには市報の記事で載りますよね。
- (広報担当) 市報のほうでも、オープンの記事は掲載する予定です。
- (委員) 12月に載せるならば、ぎりぎりかと。
- (事務局) CIMコラムでは、オープンしてから取材して書くように組むことが多いのですが、オープンと同時にということであれば、対応はしていけるかなと思います。ただ、今年目玉になる施設ですので、オープン後に取材して1月号とか2月号に載せるのがいいかなと思って、テーマとして挙げているところはあります。
- (委員) 高齢者か子どもかどちらにしますか。
- (委員) これは5つ選ぶと、委員会の決まりを超えてしまうのでしょうか。
- (事務局) 5つ選んで、時期的に最後のものになったものを、次期の委員会で、先送りになっているテーマとして議論することは可能かもしれません。

- (委員) そうすると、うまくおさまるような気がします。
- (委員) ③認知症高齢者支援事業と④境認定こども園も入れると。
- (委員) そうです。それでいかがでしょう。
- (事務局) 前回、すくすくプロジェクトを採用したのですが、少し先送りということで、その後の状況で先送りになるものもありますので、1個多く選んでいただいても、それなりに対応できるのかなと思います。
- (委員長) 次期委員会で、決定していただきたいテーマとして申し送るということにしまして、コラムのテーマ案としては、①すくすくプロジェクト、②がん検診、⑥自転車対策と、それから、③認知症高齢者支援事業と、④境認定こども園を扱うということで、③、④のうちの一つに関しては、次期の委員会の申し送り事項でお願いしますということにして、これでテーマ選定に関してはいかがでしょうか。

### ③第5回委員会会議要録案の確認

- (委員長) 議事録の確認ですが、事前に、要点筆記ですけれども、前回の会議要録を配布しています。何かお気づきの点がありますか。
- [「なし」の声]
- (委員長) それでは、これで確定といたします。

### (4) その他

- (委員長) その他ですが、事務局で何か考えていることはありますか。
- (事務局) 特にはないのですが、今回が第8期の最終回になりますので、各委員から総括として感想などを伺えればと思います。
- [この後、各委員から今期の本委員会について感想を述べた。]
- (委員長) 2年間どうもありがとうございました。本日の会議はこれで終わります。

以上